

1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 海域企画担当課長	
施策名	国際産業戦略港湾の実現に向けた取組の強化	成果	コスト			
事務事業名	新たな土砂処分場の確保			連絡先	052-654-7969	
目的	対象(誰・何を)	名古屋港で発生するしゅんせつ土砂			事業期間	平成18年度～
	意図(どういう状態にしたいか)	長期的かつ安定的に受け入れることができる処分場の確保を図ります。				
概要	名古屋港の港湾機能を維持強化していくために発生するしゅんせつ土砂を、長期的・安定的に受け入れることができる処分場を早期に確保する必要があります。 国土交通省中部地方整備局が実施する新たな土砂処分場の確保について、国等の関係機関と連携しながら必要な手続きに取り組んでいきます。			根拠法令等		
元年度の実施予定	しゅんせつ土砂処分場の確保に向け、令和元年度中に環境影響評価法に基づく手続きを完了します。また、引き続き国等の関係機関と連携し、関係者の理解を得ながら、取り組んでいきます。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
				関連シート		

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	関係機関と協力して環境影響評価準備書及び評価書の手続きの調整を行い、令和2年3月に国により評価書の公告・縦覧が行われました。					
コスト		29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	令和元年度に事務の体制を補強しました。
人件費	千円	3,217	3,227	18,348	8,264	
合計	千円	3,217	3,227	18,348	8,264	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
新たな土砂処分場の確保に向けた進捗状況(全5工程)	目標	2	2	4	5(累計)		新たな土砂処分場の確保までに完了した工程数 ①漁業影響調査 ②環境影響評価手続きの開始 ③環境影響評価手続きの完了 ④港湾計画への位置づけ ⑤護岸整備(一部)	
	実績	2	2	3				
(進行管理型)	事業進捗状況(元年度)			順調・ やや遅れ ・遅れ				
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	目標							
	実績							
事業進捗状況(元年度)								
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	令和2年3月に、環境影響評価法に基づく評価書の公告・縦覧が開始されました。しゅんせつ土砂処分場の確保に向け、港湾計画への位置付け等について、引き続き関係機関と協力し調整を進めています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○						
	期待どおりの成果が得られているか?	△						
効率性	最小のコストとなっているか?	○						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
		成果	
継続	拡大	拡大	作業体制を強化して、完了していない港湾計画への位置づけ等の工程の進捗を図る必要があるため。
	資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
課題			2年度以降の取組
引き続き、必要な手続きを進めるため、関係機関が連携していく必要があります。			体制を強化した上で、国等の関係機関と連携し、関係者の理解を得ながら、港湾計画への位置付けや国による護岸整備に向けて取り組んでいきます。